

地盤工学会関東支部 防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関する研究委員会

平成 21 年度 第 1 回委員会 議事録

日時：平成 21 年 7 月 28 日（火） 10:00～12:00

場所：地盤工学会 地下会議室

出席者：宮田委員長，枝広委員，岡島委員，片田委員，小浪委員，河野委員，平野委員，松島委員，松本委員，藪委員，高橋

欠席者：篠田委員，本田委員，森川委員

配布資料

資料 1：委員会の趣意書

資料 2：委員会名簿

資料 3：地盤工学会関東支部 研究委員会の成果報告のとりまとめに関する覚書

資料 4：活動計画（案）

資料 5：地盤工学における出版企画の例

資料 6：参考資料 性能設計の報告事例

議事

1. 委員長挨拶

2. 自己紹介

- ・ 平野委員の所属変更：土木設計部 → 土木技術部

3. 発足の経緯について

- ・ 発足の経緯と本委員会に求められる成果報告について，資料 1 および資料 3 に基づき，宮田委員長より説明があった。

4. 活動計画について

- ・ 活動計画案について，資料 4～6 に基づき，宮田委員長より説明があった。
- ・ 活動計画案にある事例収集について，どのような事例を収集・提供できそうか，という委員長の問いに対して，以下のような回答・意見があった：
  - 減災に対する農水省の取り組みについては紹介できる。
  - 北千葉道路のプロジェクトでは DB 方式を採用している。多数の提案（各種道路擁壁）が出てきているが，（目的・趣旨を伝えて相談したら，一部公開可能かもしれないが）これを公開することは難しいだろう。また，現行の DB 方式では，性能設計というよりは，既存の基準を用いることを前提に，工期の短縮を図る提案などが主流である。
  - 性能設計をどうとらえるのか。具体の最近の技術の紹介は障害が大きい（ごく一般的なものは出せるかもしれないが，有益な情報となるかは不明）。モデルケースを設定して，それに対する提案例を示す，ということはあるかもしれないが，それなりの作業が発生すると共に，現実味がないものになってしまうだろう。最近では，危険物（タンク）についての事例はあるが，これを紹介することはまずできない。
  - 本委員会は性能設計をうたっているが，コスト削減を意識した設計と施工の実際を収集・紹介することでも良い。

- 建築における事例を示すことは可能。ただし、地震を意識した設計は防災と捉える事が出来るかもしれないが、減災という概念はそもそもない。
  - 舗装では性能規定で発注することは多いが、道路土工では性能規定で発注している事例はないため、事例を示すことは厳しいと思われる。現在、土工指針の改定が進められているが、性能規定型設計というよりは、現在の設計・施工法で出来上がった構造物の性能を明確にするという方向である。
  - 地震対策（液状化対策）としての地盤改良の進歩は目覚ましいものがあり、結果として性能設計になっているといえるかもしれない。
  - 実際の設計・施工事例が難しいようであれば、研究事例を収集するという事も考えられる。
  - 防災・減災に関連した事例（どのような災害に対して、どのような復旧をしたか）を収集すれば、おのずと目指すべき性能が見いだせるかもしれない。
  - 宅地擁壁の危険度判定のもととなった事例などは、使えるかもしれない。
  - 防災・減災というが、対象構造物が見えてこないのでは何とも言えない。
  - 幅広に事例を収集するよりは、ある程度ターゲットを絞った方がよさそうである。
  - 趣意書を見ると提言（提案）をするとあるが、その対象は決まっているのか  
→それは未定である。
  - 上記の意見を踏まえると、被災・復旧事例に学ぶ、というのもよいかも知れない。これにより、現在何が不足しているのか、どのような研究・開発が必要なかが明らかになれば、これを学会内に提案することもできる。
  - 「減災」が、個別の構造物は被災して修復が必要になるものの、全体としての損失を一定の範囲に抑えることを指すのであれば、減災に資する性能設計とは何か、というのを議論してもよいかも知れない。
- ・ 本委員会の主題（防災・減災のための設計・施工法、性能設計）に対する各委員の考えを踏まえた上で、本委員会の目標とする成果（柱）を改めて決めたいので、各委員より、身近な（自身の業務に関連した）防災・減災の実際と研究について話題提供いただきたい（宮田委員長）。については、A4×2枚程度でこれをまとめていただきたい（モニタリングや劣化度の評価など、防災・減災に関連するものでも良い）。
5. 今後の予定など
- ・ 上記の話題提供資料を、10月9日までに幹事団（宮田委員長と高橋）に送っていただきたい。
  - ・ 次回委員会は、10月23日（金）14:30～とし、修了後、懇親会を予定。

以上